



あなたの思いやりを

(社)被害者支援センターやまなしだより

第4号

平成20年8月

第1回通常総会・理事会を開催



ごあいさつ

さらなるレベルアップを目指す

被害者支援センターやまなし 理事長 竹井 清八

「(社)被害者支援センターやまなし」は、皆様方のご理解とご協力により、昨年の4月1日に社団法人として産声を上げ、業務を開始してから、はや1年余が経過しました。

この間、当センターの存在と活動を県民の皆様方に広く知っていただくための広報、宣伝活動を積極的に行いながら、同時に電話相談、面接相談、裁判所・検察庁等への付き添いなど被害者に対する支援活動にも活発に取り組み、被害者の精神的負担の軽減等に努めて参りました。

地域の連帯意識や絆が希薄化した現代社会の中で、我々も、いつ何時、何の落ち度もないのに不条理な事件、事故に巻き込まれ、被害者の立場に立たされるかも知れないわけですが、こうした被害者やその家族は、当事者だけで悩み、苦しみ、孤立するという

ケースが多く、これらの被害者を支援していく当センターの存在意義や社会的な役割は極めて大きなものがあります。

さらに被害者支援の輪を大きく広げ、効果的な活動を行うためには、犯罪被害に遭った初期の段階から支援活動に取り組むことが重要であり、2年目の今年は事務局体制や財政基盤の整備に加え、ボランティア支援員のレベルアップと犯罪被害者等早期援助団体の指定に向けた活動の強化に取り組んで参ります。

県民の皆様方より一層のご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。

(平成20年6月5日(木) 通常総会にて)

平成20年度通常総会・理事会を開催

6月5日(木) ベルクラシック甲府

平成20年度被害者支援センターやまなし通常総会は、6月5日(木)午後4時から、ベルクラシック甲府で開催しました。総会では平成19年度の「事業報告」「決算報告」「監査報告」と「新役員選出について」の議案が提出され、全て承認されました。

これに先立ち、同日午後3時から平成20年度第1回理事会が開かれ、平成19年度事業報告、収支決算報告について協議されました。

新役員選出については、

- ①事務局体制の充実と警察からの犯罪被害者にかかわる情報の提供を受けることが出来る
 - ②早期援助団体の受け皿とするために常勤の理事を事務局に置く必要がある
- という理由から新たに専務理事を置くことが承認されました。



平成19年度収支決算

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

収入	会費等収入	6,084,000
	寄付金収入	642,785
	補助金等収入	7,334,350
	雑収入	19,877
	任意団体繰入金	3,898,324
当期収支合計		17,979,336
支出	事業費	9,012,436
	管理費	6,214,321
当期支出合計		15,226,757
当期収支差額		2,752,579
次期繰越金		2,752,579

平成19年度事業実績報告

事業名	実施事項	実施時期
相談活動の推進	電話相談等	通年(計172件)
	メール相談	通年(2件)
	面接相談	通年(14件)
	専門相談	11月27日(2件)
直接支援活動の推進	付き添い支援	5月～7月(計8回) 11月(計4回)
	日常生活への支援に関する教養	通年
ボランティアの養成・育成	新規養成講座	11月～12月 8日間
	研修会(育成講座)	通年(計6回)
相談体制の充実	専門相談員の委嘱	通年
	代理被害の防止	通年
広報啓発活動	広報活動(機関誌発行)	3回
	広報活動(ポスター等)	通年
	啓発活動(講師派遣)	3回
	啓発活動(講演会・映画上映会)	11月29日 2月6日
調査研究活動	研究活動	通年

センター役員

(順不同・敬称略)

顧問	横内 正明	山梨県知事
	内田 健	山梨県議会議長
	石川 善一	山梨県弁護士会会長
	久保 眞一	山梨県町村会会長
	廣瀬 久信	山梨県農業協同組合中央会会長
	薬袋 健	(社)山梨県医師会会長
	宮城 直樹	山梨県警察本部長
	横内 公明	山梨県市長会会長
参与	飯窪 さかえ	山梨県女性団体協議会会長
	入倉 修	(社)日本青年会議所関東地区 山梨ブロック協議会会長
	里吉 和子	(社)山梨県看護協会会長
理事長	竹井 清八	山梨県商工会連合会会長
副理事長	山口 勝弘	山梨県臨床心理士会会長
	山角 駿	山梨県精神科病院協会会長・ 山梨県精神科医会会長
専務理事	小野 忠則	(社)被害者支援センターやまなし
理事	飯野 昇二	(財)山梨県交通安全協会専務理事
	石川 東洋	(社)山梨県警備業協会会長
	井上 勲	(社)山梨県建設業協会会長
	上原 勇七	山梨県商工会議所連合会会長
	大澤 英二	山梨いのちの電話理事長
	大森 武正	山梨県遊技業協同組合理事長
	金丸 康信	(株)テレビ山梨代表取締役社長
	内藤 悦次	山梨県中小企業団体中央会会長
	長澤 利久	山梨県経営者協会会長
	野口 英一	山日YBSグループ代表
	武者 吉英	山梨県産婦人科医会会長
監事	小野 洋一	山梨県司法書士会副会長
	丸山 孝佳	東京地方税理士会山梨県会 業務対策部長

ごあいさつ

早期援助の実現を



専務理事(事務局長)

小野 忠則

本年4月1日から(社)被害者支援センターやまなしの事務局長として就任しました小野忠則です。よろしくお願いたします。

昨年の4月1日に社団法人として設立された当センターが、県内初の民間組織として総合的な被害者支援活動を本格的に開始して、はや1年4ヶ月が過ぎました。

全国的には遅い立ち上がりのため、多くの課題が山積していますが、活動の原点は、それぞれ実情の異なる被害者にあったきめ細かな、息の長い対応を実践していくことであり、そのための課題は、人的資源の充実、財政基盤の確立、組織体制の強化の3点ではないかと考えております。

特に、効果的な支援活動を行うためには、被害の初期段階から対応可能な犯罪被害者等早期援助団体の指定を受けることが必要ですので、この早期実現のための活動にも取り組んでいるところです。

不慣れではありますが精一杯頑張りますので、今後とも、関係の皆様方のご指導、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。